

東成瀬村地域おこし協力隊 運営業務委託

秋田県東成瀬村 × 東成瀬テックソリューションズ株式会社

取組概要

東成瀬テックソリューションズ株式会社は東成瀬村の地域おこし協力隊の運営業務を委託されています。具体的には、IT未経験の若者を採用し、高度IT人材に育成、都心からリモートで仕事を受注しています。地方でも都心と同水準の仕事と報酬を生活コストの安い秋田県で得ることができるため、日本の社会課題である「東京一極集中」「若者のワーキングプア」などの解消にも貢献しています。



創業2年で51名の採用に成功

技術支援事業		BtoB / BtoG
ITコンサルティング領域	ソフトウェア&アプリ開発領域	
デジタルマーケティング領域	プロフェッショナル領域	
スマートビレッジ事業		For Village
生産・加工領域	観光・レジャー領域	
教育・福祉領域	生活・インフラ領域	

事業概要

基本情報

代表地方公共団体等	秋田県東成瀬村
代表民間団体等	東成瀬テックソリューションズ株式会社
他の連携団体等	
カテゴリ	採用・人事・福利厚生／雇用維持・創出／移住・定住
事業費	
目指すSDGsゴール	
事業化までの期間	2021年4月～2021年10月

取組内容

東成瀬村と強固なパートナーシップを形成し事業を展開

地域課題改善プロジェクト

「地域課題改善プロジェクト」で東成瀬村の未来を共創しています。行政の課題解決と地域産業振興をハズオン型で推進しており、住民と共に課題を見つけ、解決策を創出します。我々はテクノロジーを活用しながら、地元力を引き出し、村の持続的な成長を促しています。

地域おこし協力隊運営業務委託契約

東成瀬村地域おこし協力隊の運営業務を全面的に委託されています。人材の採用、移住支援、育成、業務管理、そして3年以内での地域に根付くプロフェッショナルの育成が含まれます。役割によって難易度が異なる業務を、私たちの専門性を活かして効果的に実施し、東成瀬村の未来のために新しい価値を生み出しています。

東成瀬村とパートナーシップを形成



新聞記事の切り抜き

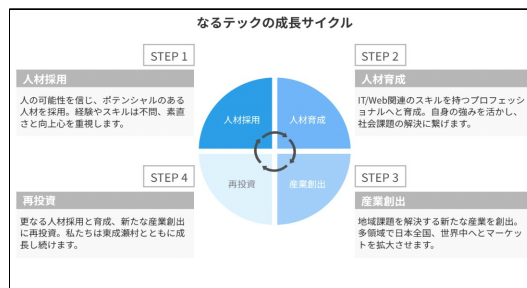
この取組で解決した課題	東成瀬村でも急速な少子高齢化・人口減少が課題となっていました。また、その解決策になり得る地域おこし協力隊の活用においても課題を抱えていました。なるテックが地域おこし協力隊の運営委託を受けることで、役場職員の方のリソースを使うことなく、地域おこし協力隊の採用から育成、業務管理までスムーズに運用されています。実際に2年間で約50名の若者の採用に成功しています。また、育成した人材を活用して村の課題解決にも取り組んでいます。例えば、村の新たな特産品として美容関連製品の開発事業や関係人口増のためにSNSを活用した村のPR事業、仙人米の輸出事業などに取り組んでいます。
解決に向けた手法	2022年10月から東成瀬村が地域おこし協力隊の運営業務を第三セクター企業である東成瀬テックソリューションズ株式会社に委託し、都市部からIT未経験の若者を採用し高度IT人材への育成を行っています。都市部から地方への人流を作り、2023年11月1日時点で51名の採用に成功しています。育成した人材を使って大きく2つの事業に取り組んでいます。一つは、都市部のクライアントへ技術支援事業、もう一つは村の抱える課題から新規事業を創出する事業に取り組んでいます。例えば、教育現場での「プログラミング教育、キャリア教育を実施するための効果的な教え方、知識などのノウハウが不足している」という課題の解決策として、学生児童にプログラミングやキャリア教育の支援を行っています。その他にも村の課題から農業、福祉等の分野でも課題解決を行っています。

取組詳細

事業推進上の各団体の役割分担	事業実施において、東成瀬村は東成瀬テックソリューションズ株式会社へ出資、地域おこし協力隊受け入れを行い、東成瀬テックソリューションズ株式会社は地域おこし協力隊の採用、育成、移住支援を実施しています。
地域関係者との連携方法	東成瀬テックソリューションズ株式会社は第三セクター企業として、地域住民をはじめとする関係者に対する説明責任を果たすために、年に3回の「成果報告会」と年に1回の「決算報告会」を実施しています。報告会を通じて参加者に事業への理解を深めていただき、応援いただけるよう取り組んでいます。
資金調達方法	出資（東成瀬村）※第三セクター 補助金・助成金
資金調達方法の補足	
事業推進上の課題・工夫	<p>・採用マーケティングにおける工夫 採用して終わりではなく、その後しっかりと業務に取り組めることが大切だと考えています。採用後のミスマッチを防ぐために複数のカジュアル面談の実施や技術の進歩が速いIT業界で必要不可欠となる「素直さと向上心」を持つか否かを重視して採用マーケティング戦略を構築しています。</p> <p>・人材育成における工夫 社員全員がIT未経験であるため、研修については特に力を入れています。具体的には、知識のインプットとアウトプットを繰り返すような研修構成としています。また、入社してすぐに会社に馴染めるように新入社員と先輩社員がペアになるナビゲーター制度を導入しています。</p> <p>・環境整備における工夫 採用した人材が生活していくための環境整備に苦労しました。役場の視聴覚室を間借りし、オフィスを作り、住宅は村の空き家をリフォームし、社員寮を作りました。また、東成瀬村も移住定住住宅を新たに建設して環境整備にご協力いただきました。</p>

担当者のコメント

私たちの経営目的は「日本のテクノロジーで解決すること」です。日本には数多くの社会課題が存在します。それらを深く理解し、テクノロジーで解決し、日本を豊かにするために私たちは生まれました。小さな村で課題を乗り越え、日本社会の豊かさと持続可能性を高めるための施策を実行します。東成瀬村から始まったこの変化を日本全国に広げ、全ての人が豊かに暮らせる社会を創り上げます。また、東成瀬村に多くの魅力的な産業を創出します。私たちのビジョンは、テクノロジーと地域のかで未来を創ること、そしてその価値が全国に広がることです。



なるテックの成長サイクル

優良事例応募項目

応募にあたっての記載事項	<p>①地方創生SDGsの視点 【8】働きがいも経済成長も 若者にITスキルで稼ぐ力を身につける環境・教育を提供し、国家的な産業成長にも貢献してまいります。 【9】産業と技術革新の基盤をつくろう 「地方」を起点に日本の社会課題をテクノロジーで解決することを目的に、社会課題解決型の事業を数多く創出いたします。 【11】住み続けられるまちづくりを 地方への人流を作り出すことで東京一極集中解消と地方経済衰退を阻止します。</p> <p>②ステークホルダーとの連携 「地域課題改善プロジェクト」で東成瀬村の未来を共創しています。行政の課題解決と地域産業振興をハンズオン型で推進しており、住民と共に課題を見つけ、解決策を創出します。我々はテクノロジーを活用しながら、地元の力を引き出し、村の持続的な成長を促しています。</p> <p>③モデル性・波及性 東成瀬村で地域課題解決の実績を積み、その解決方法は他の地域でも応用できます。また、弊社のモデルに倣って地域課題解決の枠組みが各地で勃興すれば、日本全体の豊かさの総量は増加する可能性があります。地域課題を解決する新たな産業を創出し、多領域で日本全国へとマーケットを拡大させます。</p>
--------------	--